



令和6年5月発行  
第1号  
南丹市立園部中学校  
PTA会報委員会

## 「KYO」園部中学校

春に芽吹いた蕾もすっかりと芽を伸ばし、青々とした葉を爽やかな風に靡かせる季節となりました。会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より、PTA活動へのご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度PTA本部役員会を務めさせていただきました瀬渡善道と申しますが、何分不慣れなところもあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひします。さて、皆様もご承知の通り、本年は元旦より能登半島地震という大きな災害からスタートした年となりました。正月気分が家族と過ごす中、地震速報で一気に現実を引き戻され、その後も連日のように多くの被災された方が避難されている様子をテレビで見ると、心が痛み、そして、被災地域での人のつながりの重要性を再確認しました。

「私たちの地域は本当に大丈夫だろうか、有事の際、近所の人と協力することが出来るのだろうか。」そんな思いが頭をよぎりました。昨今、園部中学校学区も転入者の割合が多くなりました。私自身も転入してきたうちの一人です。結果、地元の「昔からの知り合い」というつながりが、どの地域でも薄れてきています。そんな中、PTA活動は「園部中学校」という一つの共通項で近隣住民同士が知り合い、分り合うための重要な機会ではないかと考えています。また、地域活動に園中生が主体的に参加することで、地域での新しいつながりを作り出すことにもなります。

地域活動に参加した生徒が自分たちも地域の一人であることを自覚し、どのように地域活動と向き合っていくのかを考え、行動できるようにもなってもらえれば、その経験は大きな財産となると思います。その過程であいさつやコミュニケーションの重要性、自分の考えを人に伝える方法や解決策を模索する過程、プランを実現する難しさを知る「生きた教育」につながるのではないかと期待せずにはいられません。そして、そんな生徒達の活動を強く後押しすることが私たちPTAの使命だと思っています。

本年度のPTA活動スローガンは「KYO（園部中学校）」とさせていただきます。園部中学校に通う生徒たちが強い気持ちをもって中学校生活を送ってほしいです。

そんな思いで「KYO（きょう）」としました。

生徒たちをいつも「共」に支えて頂いている家族、「教」育を通じて生徒たちの進む方向を指導して下さる先生方、また、いつも生徒たちを温かく見守って下さっている地域の方々の「協」力。そして私たちは奇しくも「京」都に住み、同じ「今日」をこの園部で過ごしています。

そんなKYOでつながった生徒、家族、教師、学校、地域がお互いの「境界を超え、お互いを理解した時、驚」異的な力を発揮できると思います。これらの活動には会員の皆様の大きなご理解とご協力が不可欠です。

出来る限り情報を共有配信させて頂きまますのでご理解、ご協力の程、宜しくお願ひ致します。

PTA会長 瀬渡 善道

### 人との繋がりを大切に

新緑が美しく眩しい季節となりました。4月に新入生145名を迎え、全校生徒395名で令和6年度がスタートしました。昨年度3年生の卒業生が112名でしたので、今年度は33名と約1クラスが編成できるくらい増え、学校は活気に満ちあふれています。1年生は入学から約1カ月が経過して、中学校生活にも慣れてきた様子です。落ち着いて授業に臨み、学年の行事にも前向きに取り組むことができています。部活動にも全員が加入して頑張っている状況です。

このように、全校生徒数が増えて学校が活性化することは大変ありがたいことです。

一方で、先日、昨年度の南丹市の出生数が約138名と聞き、本年度の入学より少ない出生数に、この南丹市においても少子化が加速しているのだと実感しています。このような状況で将来的に危惧することは色々ありますが、学校現場においては、今まさに部活動の運営に支障を来すことが現実問題として課題となっています。

今年度、春の南丹・船井の各種大会（南船大会）の軟式野球を例にとると、自校のメンバーにだけよる単独チームで出場できたのは7校中2校だけでした。後は合同チームでの出場となりました。園部中学校を除く南丹・船井地区の各中学校のチーム競技による部活運営は大変厳しい状況にあります。

同じ南丹市在住の中学生には、平等に部活動と試合機会が保障され、部活動を楽しんでほしいと願っています。昨年度の出生数を見てみると、12年後、2036年度の本校への入学生は100名を切り、さらに八木、日吉、美山の各中学校の入学生数も各校で20名を割る予想で、さらに厳しくなるのは必至です。

このような状況から、南丹市では新聞でも報道されましたが、昨年度より軟式野球とサッカーの2競技で、南丹市内の各中学生が集まって合同練習会を開始し

ています。

国は令和5年度から休日部活動（文化系部活動を含む）の地域移行を推奨・推進しています。全国で見ると、学校での部活動を完全になくすという地域も出てきています。本市においては、中学生の活動を受け入れてくれる社会体育・文化活動団体の受け皿が少ない状況で、地域移行の問題はなかなか進まないことが予想されます。このような状況下において、合同練習会は将来を見据え、部活動の枠組みを各中学校内の活動から、南丹市在住の中学生の活動と枠を捉えて捉え、活動を保障していこうというものです。活動に必要な備品や生徒の輸送費についても教育委員会のバックアップがあり、活動の環境を整えていただいています。

時代の流れは変化が激しくなかなかなことは予測不能で、対策を練っても思惑通りに進まないかも知れません。しかし、少なくとも加速する少子化の現状にあっただけの在り方に固執せず、南丹市全体の枠組みの中で、全ての中学生の活動を保障する視点が今後は大切になってくると感じています。

昨年度末から本校のサッカー部でも、市内でチームとして成立しない他中学校の生徒と一緒に合同チームで活動しています。3年前は本校の生徒数が少なく合同チームに頼るといこともありました。全ての生徒の活動を保障し、部活動に限らず生き生きと中学校生活を楽しめるように、会員の皆様には本校の教育に「理解をいただきますようお願いいたします。最後になりましたが、生徒たちの活動がより楽しく充実したものとなりますようPTA活動の推進にもご協力いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校長 宅間 治郎

### 各学年主任より

#### 『自立と認め、励まし、助け合い』の学年を目指して

新しい制服に身を包み、「どんな中学校生活になるのか」と緊張した面持ちの中、ドキドキとワクワクを抱きながら中学校に入学した4月10日から1ヶ月が経ちました。これまで、遅刻や欠席がほとんどなく大変元気に中学校生活のスタートが切れたと感じています。日々の学校生活では、お互いに声を掛け合う

姿、掃除を一生懸命取り組む姿など前向きな様子が多く見られ、これからの活躍に大きく期待しています。

さて、第1学年では、「自立と認め、励まし、助け合い」をテーマにしています。自らの考えを大切にしながら粘り強く行動できるようにするとともに、様々な個性を認めながら学校生活を送れるように教育活動を進めていきたいと思っています。中学校には子ども達が活躍できる場面がたくさんあります。入学当初に「頑張ろう」と心に決めた気持ちを大切にしながら、安心・安全な学校生活となりますよう全力で支援をしていきます。保護者の皆様とも、丁寧な連携を心がけながら、ともにお子様の成長を支えていけたらと思っています。どうぞ、ご支援、ご協力よろしくお願い致します。

第1学年主任 片山 大輔

#### 「思いやりのある自立した集団」を目指して

1年生を本校に迎え、先輩としての自覚が芽生えてきた2年生。進級して気持ち新たに頑張る姿が至るところで見られます。

この1年で様々な経験をし、温かな思いやりのある集団に成長してきました。

行事や学年の取組では、各クラスが良きライバルとなり、刺激し合いながらお互いを高め合ってきました。どんな結果でも最後は讃え合い、清々しい笑顔であふれていました。

「自立」に向けた「自律」のためには、正しい知識を身につけて、正しく判断し、行動に移すことが重要になります。今、子ども達は、引き出しの教とその中身を増やしているところです。そして課題にぶつかつた時、どの引き出しを開けて、どれを組み合わせたら良いのか考えることを繰り返しています。時には失敗することもありますが、考えた上での失敗は結果的に必要な失敗と捉え、学びに変えれば良いと思っています。

1年生もアクセル全開で突っ走ってきましたが、2年生になり、更にギアを上げていく度に、「自分で考える」「自分でコントロールする」ということをブラして行動できるように、学校と家庭が連携しながらサポートできれば幸いです。今年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

第2学年主任 中川 裕子

### 3年生として

新年度を迎え、園部中学校の最高学年としての1年がスタートしました。まだ慣れない中学校の制服に身を包み、初々しい姿がかわいらしかった2年前を思い出すと、その成長ぶりには驚かされるばかりです。

中学校で様々な経験をして、少しずつ力をつけてきましたが、これまで培ってきた力を発揮する場が今年度はたくさんあります。1つは体育祭や文化祭などの大きな行事です。これまでの先輩の姿や、自分たちの取組を踏まえて、全体の中でリーダーシップを発揮するとともに、その周りの人の協力と支えが重要になります。広い視野をもって取り組んでくれると期待しています。次に、修学旅行です。これまでの行事や活動で身につけた行動力、規範意識、思いやりの気持ちが試されます。自分たちが決めたルールや行動計画に則って、みんなが気持ちよく3日間を過ごせるようにすること、そして2年生の時から進めてきた平和学習の学びを更に深めることを大切に、みんなで経験を共にします。他にも、部活動があります。先日、1年生が正式入部し、3学年そろっての活動が始まりました。初めは何も分からなかった1年生の頃を思い出し、優しく教えたり声をかけたりする姿が見られる一方、3年生として率先して活動する姿も見えています。

最後に、希望進路の実現です。これまで以上に自分と向き合い、自分の意思で希望進路を選択し、それに向かって努力することが求められます。周りの人の適切なサポートを受けながら、力を十分に発揮して、乗り越えてほしいと思っています。教員一同、学習面のみならず、様々な面でのサポートも意識し、希望進路の実現に努めていきたいと考えています。

今年度も引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。

第3学年主任 津田 優子

